

(単位：千円)

| 事業名 | 前年度予算額 | 要求額 | 審査額 | 摘要 |
|--|--------|---|---|--|
| <p>【保健医療部】</p> <p>新</p> <p>1 地域医療再生基金 関連事業</p> | | <p>561,706</p> <p>〔国庫 143,959 繰入 417,747〕</p> | <p>561,706</p> <p>〔国庫 143,959 繰入 417,747〕</p> | <p>国の地域医療再生臨時特例交付金で造成した基金を活用し、産科、小児科救急医療体制の整備や医師確保の充実を図る地域医療再生計画に基づく事業を推進する。</p> <p>基金総額 50億円（利根・西部第一保健医療圏） 事業実施期間 平成22年度～平成25年度</p> <p>【医師等医療人材の確保について】 基金総額 5億1,600万円 平成22年度 6,900万円（全額基金）</p> <p>地域枠医学生奨学金貸与事業（H22～H25） 1,200万円（全額基金）</p> <p>大学医学部定員増に伴い、地域に定着する医学生を誘導するため、奨学金制度を創設。 貸与対象者5人×月20万円×12月</p> <p>臨床研修医研修資金貸与事業（H22～H25） 2,400万円（全額基金）</p> <p>産科、小児科、救急医を目指す臨床研修医に研修資金を貸与。貸与期間の1.5倍を県内医療機関で勤務すると免除となる。 貸与対象者20人×月10万円×12月</p> |

【審査の考え方】
地域医療における課題の解決を図るため、地域医療再生基金を活用した医療人材の確保、周産期・小児救急医療体制の整備及び地域医療連携体制整備の必要性を認め、要求額を措置した。

保健医療部

(単位：千円)

| 事業名 | 前年度予算額 | 要求額 | 審査額 | 摘 要 |
|------|--------|-----|-----|---|
| (続き) | | | | <p>救命救急・周産期センター医療従事者処遇改善事業費(H22～H25) 3,300万円(全額基金)</p> <p>救命救急、周産期センターに勤務する医師、看護師の医療技術向上のための学会参加費等について助成する 補助対象者 医師 50人×10万円 看護師400人×7万円</p> <p>[平成23年度以降実施事業] ・救命救急・周産期センター看護師確保対策事業</p> <p>【周産期医療・小児救急医療の充実について】 基金総額 34億7,294万円 平成22年度 1億2,001万1千円 (うち基金 1億1,605万2千円)</p> <p>NICU退院児在宅療養支援事業費(H22～H25) 636万2千円(うち基金 424万2千円)</p> <p>NICUを退院し、在宅療養を行っている児童の一時預かりを行う医療機関等に対して補助する。</p> <p>NICU入院児支援コーディネーター設置事業費(H22～H25) 1,000万円(うち基金 816万1千円)</p> <p>NICU長期入院児の障害児施設や在宅医療への移行支援を行うため、NICU入院児支援コーディネーターを設置する。</p> |

保健医療部

(単位：千円)

| 事業名 | 前年度予算額 | 要求額 | 審査額 | 摘 要 |
|------|--------|-----|-----|--|
| (続き) | | | | <p>医師派遣事業費 (H22～H25) 7, 864万9千円 (全額基金)</p> <p>県立小児医療センターの非常勤医師及び大学病院の小児科医師を県内各地の小児救急医療機関の当直医として派遣することにより、小児救急輪番の空白日解消を図る。 実施主体：県立小児医療センター 非常勤医師 10人 400回 大学病院等 当直医師派遣 200回</p> <p>小児救急医療施設整備費 (H22) 2, 500万円 (全額基金)</p> <p>所沢市市民医療センターの小児救急24時間365日体制を確保するために行う施設改修に対して助成する。 実施主体：所沢市立市民医療センター</p> <p>[平成23年度以降実施事業]</p> <ul style="list-style-type: none">・総合周産期母子医療センター施設・設備整備費 (H23・H24)・救命救急センター設備整備補助 (H25)・小児中核拠点病院整備費 (H23～H25)・県北地域拠点病院への常勤小児科医派遣 (H23～H25) |

保健医療部

(単位：千円)

| 事業名 | 前年度予算額 | 要求額 | 審査額 | 摘 要 |
|------|--------|-----|-----|---|
| (続き) | | | | <p>【医療連携の推進について】 基金総額 10億1,106万円 平成22年度 3億7,269万5千円 (うち基金 2億3,269万5千円)</p> <p>共同利用医療機器整備 (H22) 3億7,269万5千円 (うち基金 2億3,269万5千円)</p> <p>中核的医療機関において共同利用を行う医療機器 (MRI、CT等)を整備する。</p> <p>[平成23年度以降実施事業] ・共同利用医療機器整備 (H23) ・診療情報共有システム整備 (H24)</p> |

保健医療部

(単位：千円)

| 事業名 | 前年度予算額 | 要求額 | 審査額 | 摘 要 |
|-------------------|--|--|--|---|
| 重 2 周産期医療体制整備費 | 182,100 〔 国庫 100,873 一財 81,227 〕 | 485,823 〔 国庫 261,105 繰入 12,403 一財 212,315 〕 | 485,823 〔 国庫 261,105 繰入 12,403 一財 212,315 〕 | 周産期医療体制の維持・充実を図るため、周産期医療センターの運営やNICU整備に対する支援等を実施 1 周産期医療対策事業費 2,345万5千円 周産期患者の受入施設の空床情報ネットワークの運営や周産期医療関係者の研修を行う。 2 周産期医療施設運営費補助 3億6,269万1千円 総合周産期母子医療センターや地域周産期母子医療センターのMF-ICUやNICUの整備数に応じて運営費を補助する。 (1) 総合周産期母子医療センター運営費補助 1億961万円 (2) 地域周産期母子医療センター運営費補助 2億3,908万1千円 (3) 新生児センター運営費補助 1,400万円 |

【審査の考え方】
周産期医療体制の維持・充実を図るための体制整備や支援強化の必要性を認め、要求額を措置した。

保健医療部

(単位：千円)

| 事業名 | 前年度予算額 | 要求額 | 審査額 | 摘 要 |
|------|--------|-----|-----|--|
| (続き) | | | | 3 新生児搬送用保育器管理事業 1,930万9千円 |
| | | | | 4 NICU施設整備補助事業 6,400万6千円 |
| | | | | 5 NICU退院児在宅療養支援事業 【地域医療再生基金事業再掲】 636万2千円 |
| | | | | 6 NICU入院児コーディネーター設置事業 【地域医療再生基金事業再掲】 1,000万円 |

保健医療部

(単位：千円)

| 事業名 | 前年度予算額 | 要求額 | 審査額 | 摘要 |
|---|--------|-------------------------|-------------------------|--|
| <p>新</p> <p>3 埼玉県自殺対策緊急強化基金事業費</p> | | 145,462 (繰入 145,462) | 145,462 (繰入 145,462) | <p>国の地域自殺対策緊急強化特例交付金で造成した基金を活用し、県・市町村・民間団体等で連携して埼玉県の実情を踏まえた自殺防止対策の取り組みを行う。</p> <p>基金総額 3億6,065万9千円 事業実施期間 平成21年度～平成23年度</p> <p>埼玉県自殺対策緊急強化基金事業費 1億4,546万2千円</p> <p>1 民間団体との連携支援 6,492万円</p> <ul style="list-style-type: none">・電話相談の充実（埼玉いのちの電話に対する補助）・包括支援相談の実施（週1回定期相談・年2回合同相談会）・自死遺族の集いの場普及支援・鉄道の飛び込み防止対策 <p>2 市町村の取り組み支援 8,054万2千円</p> <ul style="list-style-type: none">・市町村独自の取り組みに対する補助（35市町村）・小・中学校児童生徒への「命の大切さ」特別授業・市町村との連携による自殺実態調査 |

【審査の考え方】
自殺対策緊急強化基金を活用した自殺対策の強化・充実を図るため民間団体及び市町村支援の必要性を認め、要求額を措置した。

保健医療部